

# 平成30年度学校評価書

北海道霧多布高等学校

## 平成30年度 めざす学校像

- 1 生徒の「才能と可能性」を見つけて伸ばし「やる気と自信」を育む学校
- 2 人間的なふれあいや信頼関係を大切に、生徒の自己実現を支援する学校
- 3 地域に根ざし、地域の特性を活かし、地域を担う人材を育成する開かれた学校

次のA～D(A：そう思う B：おおむねそう思う C：不十分である D:改善を要する)のいずれかを○で囲んで下さい。

領域	対象	No	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点	評価	改善・充実の方策	学校関係者評価	
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができたか。	B	○ICT機器の利活用方法の改善が進んでいる。授業評価アンケートを改善し、その結果を踏まえた、より生徒の学習意欲を高める授業を推進する。また、TTや習熟度別学習、学習支援員による支援により、生徒の実態に即した学習指導に成果がみられた。今後は家庭学習の定着化を推進する。	A	
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができたか。	A			
	生徒指導	3	生徒会活動の自主的な運営推進	生徒会執行部及び各委員会が主体となって、日常の学校生活に課題意識をもつ取組を企画・運営することができたか。	B	B	○生徒会執行部を中心とした実行委員会による自主的な行事運営が実践され、委員会活動の活発化がみられた。今後は日常の学校生活に課題意識をもたせる取組みを推進する。	B
		4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できたか。	B			
	進路指導	5	キャリア教育の体系化	生徒一人一人が自己肯定感、適切な勤労観・社会性を培う3年間の計画を「見える化」することができたか。	B	A	○スキルアップ制度を活用した資格取得をおし自己の将来を見据えた計画を立てさせることに成果がみられた。また、キャリア教育の全体計画を完成させた。今後は生徒・保護者及び地域の方にHPの定期的な更新や霧高だよりをおして細やかな情報発信を推進する。	A
		6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができたか。	A			
学校関係者意見等		○毎月の霧高だよりにも、生徒目線のコメントが掲載されたり、文化センターでの活動報告では、地域に開かれて、学校よりも、行きやすいと思いました。今年度は参加できませんでしたが、昨年度は、大人より立派な発表をしていました。 ○長所も短所も生徒にとってすべて個性です。上手く指導してこそ光るものが備わるのかなと考えます。						
学校運営	開かれた学校づくり	7	新教育課程の検討	新学習指導要領に対応する教育課程編成に向け、情報収集及び検討会等を適切に行うことができたか。	B	C	○新学習指導要領について、教科・全体での研修を行い、理解が深まっている。今後は教科中心から全体への具体的な取組みを加速させる。また、町内小中学校との連携では一部科目での動きにとどまったことから、「浜中学」を軸とした幅広い教科・科目での連携及び特に中学校との連携を密にし、中学生の本校への理解が進む取組みを企画する。	B
		8	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できたか。	C			
	組織・運営	9	学校評価の改善	PDC Aサイクルを早期にずらし、学校課題の速やかな把握に努めるとともに、課題解決に向けた取組を年度内に実行できたか。	A	A	○分掌の統合・再編を行い校内管理体制スリム化をすすめた。さらに、反省会議の時期を早めることで、次年度へ向けた具体的方策の作成に早期に取り組めた。今後は、分掌業務とその運営の在り方に改善を加えていく。	A
		10	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて把握検討し、円滑で効果的な運営に向け改善を図ることができたか。	B			
	教員の資質向上	11	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩む体制づくりを推進できたか。	A	A	○3名の道外研修・1名の道内研修を実施したほか、管内研究会等に多く出席し研鑽を深めることができた。今後は、日常的・継続的な研修報告体制の確立へ向けて、朝の打ち合わせ等の時間を有効に活用し実践する。	A
		12	校外研修の共有	不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができたか。	B			
学校関係者意見等		○管外への進学については、特徴あるカリキュラム、専門性、部活などを重視し選択されているようだ。霧高も何か特徴を前面に出さないと、少子化の影響を受け減少を抑えることは厳しいのではないかとされる。 ○少子化の中、魅力ある学校を作り上げるには、浜中町に残っても安心出来る仕事や生活環境があることを小学生や中学生のうちに解ってもらう事です。他高校との定期的な交流があれば本当に良いと思いました。						

# 平成30年度学校評価に係る保護者アンケート

北海道霧多布高等学校

## 1 教育活動について

(A: そう思う B: おおむねそう思う C: 不十分である D: 改善を要する)

No	質問事項	数値	保護者全体					1学年保護者					2学年保護者					3学年保護者				
			A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計
1	霧多布高校は、生徒にとって質の高い授業を行い、学力の向上を図っている。	数	24	53	7	0	84	7	18	1	0	26	10	15	5	0	30	7	20	1	0	28
		%	28.6	63.1	8.3	0.0	100	26.9	69.2	3.8	0.0	100	33.3	50.0	16.7	0.0	100	25.0	71.4	3.6	0.0	100
2	霧多布高校は、進学講習や家庭における学習課題など、授業をサポートする取り組みを実施している。	数	26	50	7	0	83	7	18	1	0	26	10	14	5	0	29	9	18	1	0	28
		%	31.3	60.2	8.4	0.0	100	26.9	69.2	3.8	0.0	100	34.5	48.3	17.2	0.0	100	32.1	64.3	3.6	0.0	100
3	霧多布高校は、いじめのない安全安心な学校環境を整えるとともに、教育相談やカウンセリングを充実させている。	数	19	47	12	4	82	3	18	4	1	26	5	17	5	3	30	11	12	3	0	26
		%	23.2	57.3	14.6	4.9	100	11.5	69.2	15.4	3.8	100	16.7	56.7	16.7	10.0	100	42.3	46.2	11.5	0.0	100
4	霧多布高校は、規律を重んじる意識・態度を身につけ、生徒の自己指導力を育成している。	数	25	50	9	0	84	6	20	0	0	26	5	19	6	0	30	14	11	3	0	28
		%	29.8	59.5	10.7	0.0	100	23.1	76.9	0.0	0.0	100	16.7	63.3	20.0	0.0	100	50.0	39.3	10.7	0.0	100
5	霧多布高校は、生徒及び保護者と十分連携して、計画的に適切な進路指導を行っている。	数	19	57	7	3	86	5	21	0	1	27	7	16	6	1	30	7	20	1	1	29
		%	22.1	66.3	8.1	3.5	100	18.5	77.8	0.0	3.7	100	23.3	53.3	20.0	3.3	100	24.1	69.0	3.4	3.4	100
6	霧多布高校は、ホームページ、学校だより、学級通信等を活用して、学校の教育活動や進路等の情報を積極的に発信している。	数	31	44	8	1	84	8	16	2	0	26	9	15	4	1	29	14	13	2	0	29
		%	36.9	52.4	9.5	1.2	100	30.8	61.5	7.7	0.0	100	31.0	51.7	13.8	3.4	100	48.3	44.8	6.9	0.0	100
7	霧多布高校は、部活動を活性化し、活発な活動を行っている。	数	27	49	6	3	85	7	17	3	0	27	8	17	2	3	30	12	15	1	0	28
		%	31.8	57.6	7.1	3.5	100	25.9	63.0	11.1	0.0	100	26.7	56.7	6.7	10.0	100	42.9	53.6	3.6	0.0	100
8	霧多布高校は、生徒や保護者・地域の期待や要望に応じている。	数	19	51	11	2	83	3	20	1	1	25	6	14	9	1	30	10	17	1	0	28
		%	22.9	61.4	13.3	2.4	100	12.0	80.0	4.0	4.0	100	20.0	46.7	30.0	3.3	100	35.7	60.7	3.6	0.0	100

## 2 保護者との連携等について

(A: いつも(見て・話して・参加して) いる B: ときどきーいる C: たまにーいる D: (見た・話した・参加した) ことはない)

No	質問事項	数値	保護者全体					1学年保護者					2学年保護者					3学年保護者				
			A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計
9	学校のホームページ、学校だより、学級通信等を見ていますか。	数	23	38	20	6	87	10	11	5	2	28	5	13	8	4	30	8	14	7	0	29
		%	26.4	43.7	23.0	6.9	100	35.7	39.3	17.9	7.1	100	16.7	43.3	26.7	13.3	100	27.6	48.3	24.1	0.0	100
10	学習・進路・部活動など、学校のことを家でお子さんと話しますか。	数	41	29	15	1	86	15	7	6	0	28	12	11	5	1	29	14	11	4	0	29
		%	47.7	33.7	17.4	1.2	100	53.6	25.0	21.4	0.0	100	41.4	37.9	17.2	3.4	100	48.3	37.9	13.8	0.0	100
11	三者懇談会、各種説明会など、学校の集まりに参加していますか。	数	24	33	21	9	87	6	8	8	6	28	7	14	8	1	30	11	11	5	2	29
		%	27.6	37.9	24.1	10.3	100	21.4	28.6	28.6	21.4	100	23.3	46.7	26.7	3.3	100	37.9	37.9	17.2	6.9	100

### ●霧多布高校への意見・要望

・生徒から見て親からも見て親身になってくれている先生が少ない。人事の様。偏屈な先生が多すぎる。生徒のことをわかっていないと思います。  
給食の配り方にも問題があると思います。当番が1品少なくなる時もある。

・学級通信を発行していますか？今年ほぼ見ていませんが…どうなのでしょう？発行されていないのに霧高の質もよく見えません！

・服装頭髪が乱れてる学年があると聞く。

・男子生徒の話をたまに耳にします。町内の意見等を（評判）気にする前に、同じ学校へ通う子供達の安全・安心を考えてほしいです。

・服装が少し乱れてる学年があると聞く。

・生徒主体で事業等を取り組んでいるようにみえて良いと思います。その分、厳しさという面では、あまり充分ではないと感じる場合があります。  
目に見えて周りに感謝する、気持ち、行動があると素敵ですね。

# 平成30年度学校評価に係る教職員アンケート集計表

北海道霧多布高等学校

次のA～D(A：そう思う B：おおむねそう思う C：不十分である D:改善を要する)のいずれかを○で囲んで下さい。

領域	対象	No	今年度の重点目標	質問項目	数値	A	B	C	D	全体
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができたか。	数	2	12	1	0	15
					%	13.3	80.0	6.7	0.0	100
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができたか。	数	2	11	2	0	15
					%	13.3	73.3	13.3	0.0	100.0
	生徒指導	3	生徒会活動の自主的な運営推進	生徒会執行部及び各委員会が主体となって、日常の学校生活に課題意識をもつ取組を企画・運営することができたか。	数	0	10	5	0	15
					%	0.0	66.7	33.3	0.0	100
		4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できたか。	数	2	11	2	0	15
					%	13.3	73.3	13.3	0.0	100
	進路指導	5	キャリア教育の体系化	生徒一人一人が自己肯定感、適切な勤労観・社会性を培う3年間の計画を「見える化」することができたか。	数	2	9	4	0	15
					%	13.3	60.0	26.7	0.0	100
	6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができたか。	数	3	9	3	0	15	
				%	20.0	60.0	20.0	0.0	100	
学校運営	開かれた学校づくり	7	新教育課程の検討	新学習指導要領に対応する教育課程編成に向け、情報収集及び検討会等を適切に行うことができたか。	数	2	10	3	0	15
					%	13.3	66.7	20.0	0.0	100
	8	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できたか。	数	0	9	5	1	15	
				%	0.0	60.0	33.3	6.7	100	
	組織・運営	9	学校評価の改善	PDCAサイクルを早期にずらし、学校課題の速やかな把握に努めるとともに、課題解決に向けた取組を年度内に実行できたか。	数	0	11	4	0	15
					%	0.0	73.3	26.7	0.0	100
	10	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて把握検討し、円滑で効果的な運営に向け改善を図ることができたか。	数	1	9	4	1	15	
				%	6.7	60.0	26.7	6.7	100	
	教員の資質向上	11	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩む体制づくりを推進できたか。	数	2	11	2	0	15
					%	13.3	73.3	13.3	0.0	100
12	校外研修の共有	不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができたか。	数	1	7	7	0	15		
			%	6.7	46.7	46.7	0.0	100		